

現在の主な仕事の内容について

現在は検査員資格の取得に向けて、実地研修に取り組んでいます。

検査業務を行うためには知識だけでなく、多種多様な機器に実際に触れながら技術を身につけることが重要です。週に3日、多い時には毎日先輩検査員に同行し、現場で実践的に学んでいます。

また、全国の検査事務所で働く検査員が円滑に業務を進められるよう、検査機器の手配や管理も担当しています。

職場の雰囲気

どの部署も落ち着いた雰囲気、相談しやすい職場です。分からないことや困ったことがあれば、先輩や上司に気軽に相談できる環境が整っており、安心して業務に取り組むことができます。

入協後に成長を感じた経験

前職では全く異なる分野の仕事をしていましたが、入協後はボイラー・圧力容器について座学研修や実地研修を通して学び、少しずつ専門知識が身につけていることを実感しています。

最初は分からないことばかりでしたが、日々の積み重ねで理解が深まり、自分の成長を感じています。

仕事の面白さ、やりがいなど

実地研修を通して、ボイラーや圧力容器がビル、病院、工場など幅広い場所で使用され、人々の生活や産業を支えていることを知ることができ、とても興味深く感じています。

社会を支える重要な設備に関わる仕事であることにやりがいを感じています。

入協後のギャップ

入協前は専門知識が必要で難しい仕事という印象がありましたが、実際には研修制度が整っており、先輩方のサポートを受けながら段階的に学べる環境がありました。

未経験でも着実に知識や技術を身につけられることが、良い意味でのギャップでした。

今後、挑戦したいこと

業務の効率化を進めるとともに、知識と技術をさらに磨き、一人前の検査員として独り立ちできるよう成長していきたいです。

ある1日のスケジュール（実地研修の日）

- 09:00 先輩検査員と現場に到着
- 現場で先輩検査員の補助を行い、検査に必要なことを学習する。（実地研修）
- 11:00 検査終了後、帰社
- 12:00 昼休憩
- 13:00 研修記録の作成
- 14:00 検査機器の修理対応
- 15:00 各種データの整理や業務改善に関する作業
- 16:30 翌日の実地研修に向けた予習・準備
- 17:00 退社

